

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課 : 道路局国道・防災課
担当課長名 : 村山 一弥

事業名 高規格ICアクセス 一般国道136号下船原バイパス	事業区分 補助国道	事業主体 静岡県
起終点 自: 静岡県伊豆市下船原 至: 静岡県伊豆市月ヶ瀬		延長 0.84 km
事業概要 伊豆縦貫自動車道「天城北道路」の（仮称）天城湯ヶ島インターチェンジへアクセスするバイパスを整備し、伊豆西海岸方面へのネットワークを強化するとともに、主要渋滞箇所に選定されている出口交差点の渋滞を緩和し、安全で円滑な交通の確保を目的とする。		
H25年度事業化	都市計画決定 無	H25年度用地着手
H26年度工事着手		
全体事業費	26.63億円	事業進捗率
		約78%
供用済延長	— km	
計画交通量	5,700台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.9	総費用 (残事業)/(事業全体) 11/26億円 事業費: 11/26億円 維持管理費: 0.36/0.36億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) 31/31億円 走行時間短縮便益: 26/26億円 走行経費減少便益: 4.3/4.3億円 交通事故減少便益: 1.0/1.0億円	基準年 平成29年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量: B/C=1.1~1.3(交通量±10%) (残事業) 交通量: B/C=2.6~3.1(交通量±10%) 事業費: B/C=1.1~1.3(事業費±10%) 事業費: B/C=2.6~3.2(事業費±10%) 事業期間: B/C=1.2~1.2(事業期間±10%) 事業期間: B/C=1.7~6.8(事業期間±10%)		
事業の効果等 ・（仮称）天城湯ヶ島インターチェンジへのアクセス向上： 西伊豆方面と天城北道路のアクセス向上が図られるとともに、交通分散による出口交差点の渋滞が緩和 ・産業、観光活性化への寄与： 下船原バイパスと天城北道路の整備により、道路ネットワークが強化され、伊豆地域における観光入込客数の増加が期待 ・防災力の強化： 下船原バイパスと天城北道路の整備により、信頼性の高い道路ネットワークを構築		
関係する地方公共団体等の意見 ・伊豆市まち・ひと・しごと創生総合戦略(H27.10策定)において、（仮称）天城湯ヶ島インターチェンジ周辺を活用地域振興エリアに位置付け、企業誘致を図り、伊豆市らしい観光地域づくりとブランド化を推進することとしており、天城北道路と一体となって整備する下船原バイパスは、伊豆市にとって重要な道路である。		
事業評価監視委員会の意見 事業を継続するのが相当である。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 伊豆縦貫自動車道「天城北道路」が平成30年度中に供用		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率100%、事業進捗率約78%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 引き続き、早期開通に向けて事業を進める。 平成30年度の天城北道路（仮称）天城湯ヶ島インターチェンジの供用と合わせた開通を図る。		

施設の構造や工法の変更等

新技術・新工法の活用、工事発生土の有効活用などによりコスト縮減を図っていく。

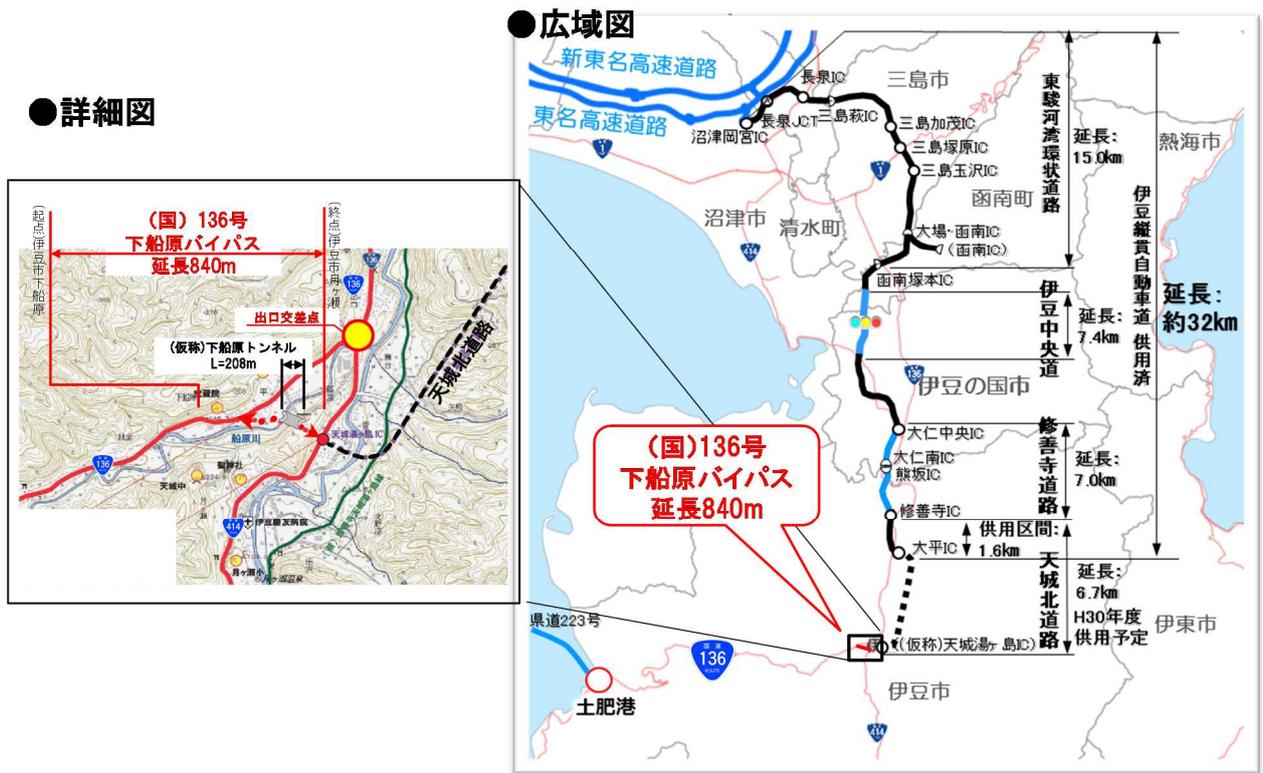
対応方針

事業を継続する。

対応方針決定の理由

B/C「1.27」である。
 渋滞の緩和及び事故低減に寄与するとともに、円滑な交通が図られる。
 産業・観光活性化の寄与も期待される。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。